

三方五湖学習

三方郡小教研生活科部会研修会

平成26年1月28日に、三方郡小教研生活科部会の研修会が開催され、若狭町内の小学校教諭10名が参加しました。

研修会は“身近な自然を子供たちに伝える”をテーマとし、生活科の授業を中心に、日常生活の中で地域の自然の恵の豊かさを学ぶポイントや、自然環境への関心を高めるポイントなどを三方五湖周辺の自然再生活動に取り組んでいる、関岡裕明さんより学びました。

講義の後半には、鳥浜漁業協同組合の増井組合長のお話を聞きながら、実際にシラウオ、ワカサギを調理し、湖の恵についての知識を深めました。



環境教育についての講義の様子



ワカサギの天ぷら



湖の恵の調理実習

自然再生関連会議等開催情報

- ◆湖と田んぼのつながり再生部会
 - ・平成25年12月7日…勉強会
- ◆外来生物等対策部会
 - ・平成26年1月12日…第2回部会会議
- ◆環境教育部会
 - ・平成25年11月21日…研修会

三方五湖の自然とめぐみTOPIX

「里山里海湖研究所」が開所されました



平成25年10月30日、里山里海湖の恵みの価値を再認識し、生物多様性の確保と福井の豊かな暮らしの承継につなげるため「福井県里山里海湖研究所」が若狭町鳥浜に開所されました。

[研究所の活動方針]

里山里海湖に関する様々な分野の研究者や自然再生活動の参加者が集い、地域との共働による「研究」「教育」「実践」を行います。

問合せ先

- 福井県安全環境部自然環境課
 - 〒910-8580 福井県福井市大手三丁目17番1号
 - TEL 0776-21-1111(代)
- 美浜町住民環境課
 - 〒919-1192 福井県三方郡美浜町郷市25-25
 - TEL 0770-32-1111(代)
- 若狭町環境安全課
 - [三方庁舎]
 - 〒919-1333 福井県三方上中郡若狭町中央第1号1番地
 - TEL 0770-45-1111(代)
- 若狭町歴史文化課縄文環境室
 - [若狭三方縄文博物館内]
 - 〒919-1331 福井県三方上中郡若狭町鳥浜122-12-1
 - TEL 0770-45-2270(直)

三方五湖のなかまたち

キンクロハジロ (カモ科)



- ・体長38～45cm
- ・オスはお腹が白いほかは黒色で目は金色。
- ・よく水にもぐり、湖底の貝や小魚、水草などを食べる。

このニュースレターは「平成25年度生物多様性保全推進交付金(環境省)」を使用しています。

三方五湖 ニュースレター



No. 02

平成26年2月1日発行



三方五湖自然再生協議会・全体会の様子(平成26年1月25日)

目次

- 三方五湖自然再生協議会
平成25年度第1回全体会開催 1、2
- 三方五湖学習、自然再生関連会議等開催状況、
自然再生取組の現場から、三方五湖のなかまたち 3

三方五湖自然再生協議会 平成25年度 第1回 全体会開催

1月25日(土)に、三方五湖自然再生協議会の全体会(平成25年度第1回)が、福井県立三方青年の家で開催され、関係者約80人が参加しました。

今回の全体会では、自然再生事業を進めている各部会から、事業の進捗状況や成果、今後の課題についての報告がありました。

各部会では、事業実施計画に基づき、ヒシの刈取りや外来魚の調査・研究、田んぼで魚を増やす取組の勉強会などが実施されています。



三方五湖自然再生協議会・全体会の様子

湖と田んぼのつながり再生部会

稲田養魚と稲作についての勉強会

12月7日、三方五湖自然再生協議会・湖と田んぼのつながり再生部会が、若狭三方縄文博物館において、稲田養魚と稲作についての勉強会を実施しました。

長野県佐久地方で実践されている田んぼでのフナ養殖、フナ米(ブランド米)の販売等についての説明を聞き、三方五湖と周辺田んぼにおけるコイ・フナの稚魚育成や、フナを用いた特産品の開発等について意見を交わしました。



稲田養魚と稲作についての勉強会の様子
(資料:小関右介氏(長野県職員))

三方五湖周辺での田んぼで魚を増やす取組 ＝シュロ採卵によるフナ・コイの稚魚育成＝

- ①湖周辺の水路等にシュロ(ブラシのようなもの)を設置します。
- ②シュロにフナやコイが卵を産み付けるのを待ちます。
- ③卵が産みつけられたシュロを田んぼに入れます。
- ④田んぼでフナやコイの卵が孵化し、稚魚が育ちます。
- ⑤田んぼで育った稚魚を捕獲し、水路や湖に放します。



卵が産みつけられたシュロ

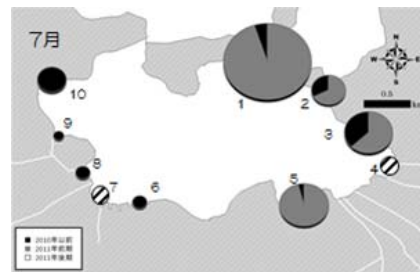


田んぼに入れたシュロ

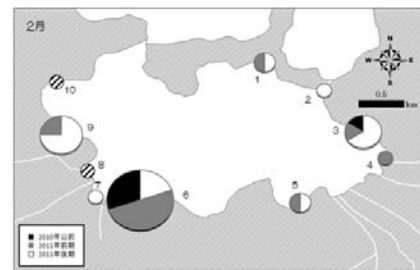
外来生物等対策部会

三方湖におけるブルーギルの分布と移動に関する研究結果

三方五湖自然再生協議会・外来生物等対策部会では、三方湖におけるブルーギルの分布と移動についての研究を進めています。今年度の研究では、ブルーギルの産卵場所、越冬場所について推定され、今後も継続して、ブルーギルの生息状況を把握し、実践とモニタリングによる駆除方法の確立を目指します。



〔産卵場所の推定〕
 ・三方湖の東側全域で早期産卵が集中する傾向がある



〔越冬場所の推定〕
 ・三方湖の南西部に集中して滞在する傾向がある

ブルーギル(サンフィッシュ科)



- ・北米大陸原産
- ・特定外来生物
- ・体長15～25cm
- ・水中の動物、植物を問わず、何でも食べる
- ・他の魚の卵や稚魚・幼魚を捕まえて食べる

環境教育部会

昔の水辺の風景画展の開催

若狭町鳥浜の若狭三方縄文博物館で、美浜町、若狭町の両町において、地元の小学生が、家族や地域の人々の話を聞いて、多様な生き物が生息していたかつての湖や川の風景を描いた「昔の水辺の風景」絵画展を開催しました。

環境保全に取り組む住民団体ハスプロジェクト推進協議会と、地元自治体や住民などで作る三方五湖自然再生協議会が、失われた水辺の遊びや自然の変化を記録し、子どもとお年寄りの交流を育むことを目的に夏休みに絵画を募集しました。

昨年度までに計857点が描かれ、ホームページ「みんなの三方五湖マップ」(<http://www.mikatagoko.jp/>)での閲覧ができます。



場所：成願寺 年代：昭和10年頃



場所：三方湖 年代：昭和20年頃



「昔の水辺の風景」絵画展の様子

シジミのなぎさ部会

シジミの生息環境と分布調査の実施

シジミのなぎさ部会では、これまでに5回の部会会議を開催し、地域ぐるみでのシジミの生息しやすい水辺環境づくりに取り組んでいます。

今年度は、東京大学、福井県立大学の研究者の皆さんによるシジミの生息環境と分布の調査が実施されており、今後は、その調査結果を踏まえたシジミのなぎさづくりに取り組みます。



部会会議の様子
(平成25年9月)

研究説明の様子

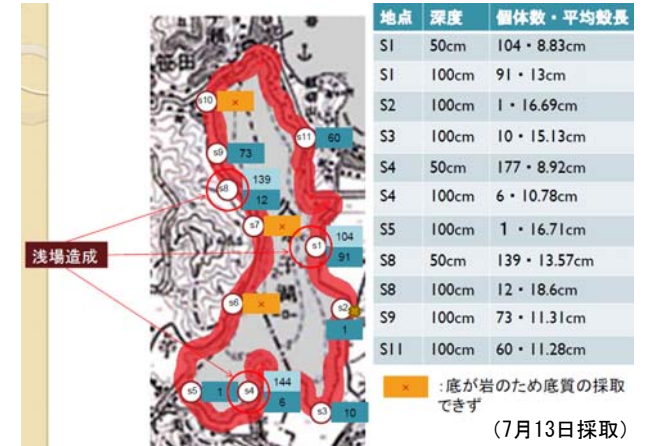
〔調査内容〕

久々湖全体の環境調査およびシジミの分布調査

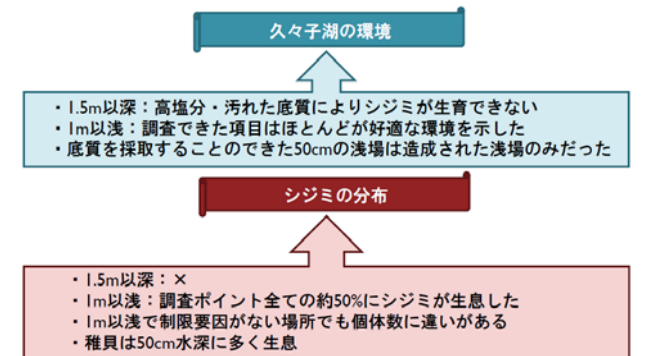
調査項目

- シジミの生育を制限する…
- ・低、高塩分・低酸素・ヘドロ

〔まとめ〕



久々湖周辺部(0.5m・1m)の環境とシジミ分布



(資料:木越喬之、船木智也、青海忠久(福井県立大学))